

令和5年度第1回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会議事録

1. 会議の名称

令和5年度第1回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会

2. 開催日時

令和5年7月31日（月） 10:00～11:25

3. 開催場所

我孫子市手賀沼親水広場 水の館3階研修室

4. 出席者

【選考委員】

上村文明委員長、藤岡宏子副委員長、正木善昭委員、工藤文委員、小澤俊輔委員

【指定管理者 株式会社あびベジ】

大炊三枝子代表取締役、鈴木康仁専務、田口忠常務

【事務局（農政課）】

大井一郎課長、斎藤寿義課長補佐、景山雄一郎係長、西田集主任

5. 議題

令和4年度の実績報告・評価について

6. 公開・非公開の別

公開

7. 傍聴人及び発言者の数

0名

8. 会議概要

委員の任期が切り替わってから初の開催となり、委員長、副委員長の選任を行った。
また、令和4年度の指定管理業務に対する選考委員会によるモニタリングとして、株式会社あびベジからの事業報告と選考委員からのヒアリングを行った。ヒアリングの詳細は以下のとおり。

委員長及び副委員長の選出について

事務局) 議事の1点目は「委員長及び副委員長の選出について」です。委員長が決定するまでは事務局で進行させていただきます。我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会設置要綱第5条に基づき、委員長を市職員は除く委員の互選により1名、副委員長を委員の互選により1名選出することとなっております。まず委員長について、立候補される方はいますか。

…立候補者がいないようですので、どなたか、推薦される方はいらっしゃいますか。

A 委員) 引き続き B 委員にお願いしたいと思います。

事務局) B 委員いかがでしょうか。

B 委員) 承知しました。

事務局) ありがとうございます。ここからの議事の進行は委員長にお願いいたします。

B 委員) それでは続いて副委員長を選出いたします。立候補される方はいますか。

…立候補者がいないようですので、推薦される方はいらっしゃいますか。

C 委員) D 委員にお願いできたらと思います。

D 委員) 承知しました。

B 委員) D 委員よろしくお願いいたします。

続きまして、議事の2点目「令和4年度の事業報告・評価」を行います。事務局は指定管理者をお呼びください。

令和4年度の事業報告・評価

(選考委員から株式会社あびベジへのヒアリング)

委員長) ご説明ありがとうございました。ただ今の令和4年度の事業報告に対して、委員から指定管理者に質問はありますか。

A 委員) 2点質問します。加工品販売について、地元農産物の活用状況について伺います。

あびベジ) 農家からの協力を得て、店頭には並ばない B 品を通常より安く仕入れて、加工品に活用しています。また、一部ではありますが、農家からの無償提供も受けて

います。

A 委員) 月別にみると 8 月の飲食部門の売上が伸びています。普段あびこんを利用しないじゃぶじゃぶ池の利用者が増えているのではないかと想定されますが、加工部門の収支改善のためにじゃぶじゃぶ池利用者をターゲットにした販売促進の取り組みはあるのでしょうか。

あびベジ) 飲食と加工部門の連携を図り、加工部門で作ったケーキを米舞亭で提供をしていますが、じゃぶじゃぶ池利用者向けの販売促進はできていない状況です。

A 委員) 私からの意見ですが、じゃぶじゃぶ池付近での加工品の出張販売を行うのはいかがでしょうか。冷やしたトマトやきゅうりなど、地元農産物を販売するなどスーパーとは違う魅力を宣伝していき、地元農産物の活用と食育の推進に絡めて、経営状況の改善を図るような積極的な取り組みに期待します。

A 委員) 最後に、修繕料についてです。機材を導入して 6 年が経過し、軽微な故障が増えてきていると聞いています。これまで以上に適正に管理し、不必要な支出は未然に防いでください。

C 委員) 2 点質問します。まず、学校給食の地元産農産物の納品についてです。令和 4 年度は市内 19 校全校に納品が実現しており、食育推進の良い取り組みだと思えます。納品量も増加していますが、何か具体的な取り組みを行ったのでしょうか。

あびベジ) コロナ禍で制限がかかっていた食育授業（トウモロコシの皮むき、そらまめのさやむきなど）が再開され、実績が伸びました。また、生徒数が多い学校には納品量が足りず、納品希望があっても野菜を確保できないことが課題でしたが、通常の搬送日とは別日にスポット納品を進め、農産物を分散して集めることができたことで、市内全校での納品を実現し、結果的に納品量が増加しました。

C 委員) 2 点目に、市民の雇用、市内業者の活用についてです。令和 3 年と比較し、市民雇用、市内業者ともに増加していますが、何か取り組みは行っているのでしょうか。

あびベジ) 従業員の雇用、出荷業者の登録を行うに当たり、市内に住所がある者を優先的に採用しています。採用については、店内掲示で告知をすることで市内での募集を進めています。

D 委員) 加工品販売の開発製造について質問です。予約販売を行っているとのことでしたが、どのような制度なのでしょうか。PR は行っているのでしょうか。

あびベジ) ハロウィンやクリスマスなど、需要がある時期にケーキの予約をしています。宣伝効果だけでなく、仕込み量の調整ができるため、菓子については予約制を続けていく予定です。宣伝は店内 POP で行っています。今後は SNS やホームページなどでの PR も行っていきます。

D 委員) 次に、学校給食の事業について質問です。あびこ型「地産地消」推進協議会、教育委員会、農政課を含めた 4 者で給食事業の課題解決に向けた会議を実して

いるとのことですが、給食事業を進める上での問題点は、どのようなことがあるのでしょうか。

あびべじ) 学校側の全てのリクエストには答えられていないことが課題だと考えています。農家の高齢化により、生産力が落ちていることから、出荷農家を増やす努力が必要です。

D 委員) 光熱費の縮減に努めたとの報告でしたが、具体的な対応をお答えください。

あびべじ) 使用量は減らしましたが、電気ガスの単価が上がり、費用負担が高騰してしまいました。縮減のための対応としては、暖房器具や冷蔵ショーケースの温度設定変更や小まめな電源 ON/OFF を行いました。

D 委員) 最後に、外部との連携体制について質問です。様々な団体と連携し、経営やイベントを盛り上げる取り組みを行っているとの報告でしたが、連携先は増加傾向にあるのでしょうか。

あびべじ) コロナ禍が落ち着き、農業拠点施設を盛り上げるために、様々な団体との連携を増やしています。

E 委員) お客様アンケートと苦情対応について質問です。様々なアンケート回答、苦情がくると思いますが、対応フロー図について説明してください。

あびべじ) 事業計画書にフロー図を記載しています。従業員と経営陣とでは朝礼、昼礼等でアンケート回答や苦情を共有し、正確に迅速に対応できるようにしています。従業員のみで対応できない場合は、経営陣が対応し、場合によっては農政課に相談し、解決に努めています。

E 委員) 利用者還元についての提案です。ポイントカードの利用率は微増ではありますが、横ばい傾向にあるかと思えます。ポイントを集めることを目的に購買意欲が上がることもあるので、事務的作業は増えますが、例えば現行の50スタンプで500円の還元を10スタンプで1000円に設定変更して、スタンプを貯めやすくするのはいかがでしょうか。

あびべじ) 現金利用者に対しての還元制度として、ポイントカードを採用しています。今後の進め方は検討していきたいと思えます。

B 委員) イベントの運営体制について質問です。農業拠点施設としてのイベントが増えています、どのような管理をしているのでしょうか。イベント担当者がいるのでしょうか。継続的に、イベントを行い、市民参加を促すことは大変意義のある取り組みなので、より充実していくためにもイベント管理体制が十分に整備されることが大事だと思いますが、現在の管理体制について伺います。

あびべじ) 役員がイベントの企画、管理を行っています。イベントを盛り上げていくためには、従業員や農家の協力が必要不可欠ですので、積極的に働きかけていきたいと思えます。

B 委員) 加工部門の収支改善に向けた取り組みについて伺います。売上は増加しているが、収支が改善されていない状況は大きな課題であると思えます。売上個数を

増加させ、原価を抑えることで経営改善に繋げてくのではないのでしょうか。現在の改善に向けた取組状況についてお答えください。

あびベジ) 原材料の高騰により原材料の見直しや原価計算を行い、販売価格を改定するなど、物価高騰への対応はしています。しかし、効率的な製造工程になっていないことや、製造量が限られてしまっていることから、改善すべきポイントは多くあります。そのため、令和5年度は千葉県産業振興センターから専門家を派遣していただき、加工の基礎から学びなおし、てこ入れをしていきます。

B 委員) 日本には四季折々の行事があり、その行事に纏わる料理があります。イベントの充実化を図り、季節に合わせた加工品を製造することで、販売量増加にも繋がると思います。積極的な取り組みを期待しています。

B 委員) 他に質問はありますか。

全委員) ありません。

委員長) それでは、以上でヒアリングを終了したいと思います。あびベジの皆様ありがとうございました。

(株式会社あびベジ退席)

委員長) それでは、各委員からの寸評をお願いします。

A 委員) 加工部門の改善について、指定管理者の意見としては、製造方法の見直し、原価の見直しなど製造に関する内容が多くありましたが、販売方法を見直すことにも注力をする必要があるように思います。委員からの意見でも、予約のPRやイベント時の販売など、販売数量を増やす取り組みに対するものが多くありました。また、市との協定で10万円未満の修繕については、市が負担することとなっていますが、今後機材の修繕料がかさむことが想定されるため、備品の適切な管理に努めて、無駄のない経営を進めていっていただきたいです。

C 委員) 過去の実績報告では、事業全体の収支状況や取り組みの改善についてがテーマに上がっていましたが、不安な箇所が減ってきたからこそ、令和4年度についてはポイントを絞った指摘が増えており、農業拠点施設としては進歩していると感じています。他団体との連携ができていますので、そこを絡めたPR方法を確立して、新たな利用者を増やせるように努力していただきたいです。

B 委員) C 委員と同じ意見です。イベントを絡めた事業を拡大するには、役員だけでなく会社全体で取り組み、農業拠点施設の充実化を図っていただきたいです。

D 委員) 経営は安定化してきていますが、光熱費の高騰や機材の経年劣化など難しい課題を抱えていると思います。使用頻度が低い機械があるようですが、動かさないと壊れるため、機材の適正な管理をお願いしたいです。また、狭い視野では新しいアイデアは出ないので、連携団体や外部環境にも目を向けて、従業員と協力してイベントなどを充実していっていただきたいです。

E 委員) 収支状況以外にも、農業拠点施設の店内外全体の管理にも目を向けていただきたい

いです。コロナ禍を終えて、外に出たい人は多くいます。次の手をどこに重きを置くか方針づくりが重要になってくると思います。農業まつりなど盛大なイベントもあり、市民を巻き込んだイベントを企画して、道の駅しょうなんとの差別化も図っていただきたいです。

B 委員) A 委員からも意見ありましたが、機材の経年劣化による修繕は年を増すごとに経営に影響が出てきます。これまで以上に意識して管理をしていき、少しでも長く使えるように日々の清掃や点検を行っていただきたいです。

(事務局から評価の集計結果を発表)

委員長) 集計結果について説明がございました。質問がある方はいらっしゃいますか。
異議がある方いらっしゃいますか。

全委員) ありません。

委員長) 最後に事務局から事務連絡をお願いします。

(今後の選考委員会のスケジュールなどの事務連絡)

委員長) それでは、よろしいでしょうか。令和5年第1回農業拠点施設指定管理者選考委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

以上